

岩手県感染症週報

平成16年第2週（1月5日～1月11日）

岩手県結核 感染症情報センター

第2週の概要

1 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

2 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

3 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

4 類感染症（全数把握対象疾患）

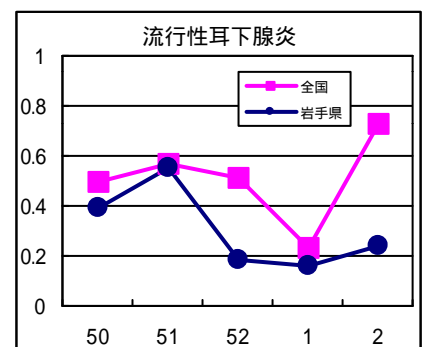
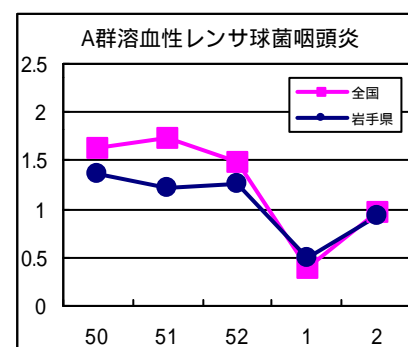
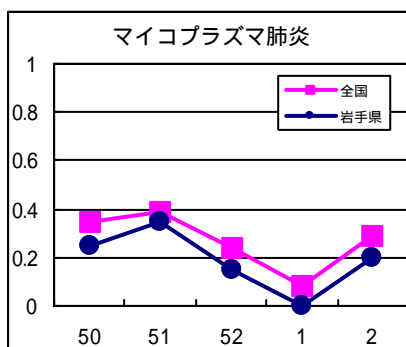
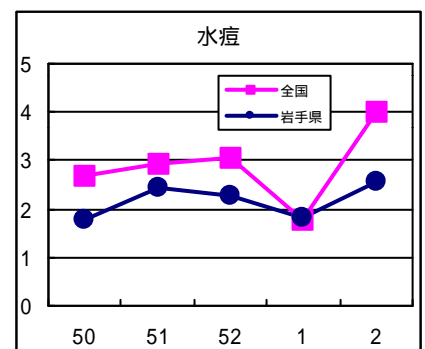
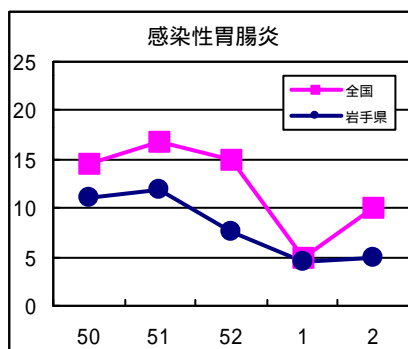
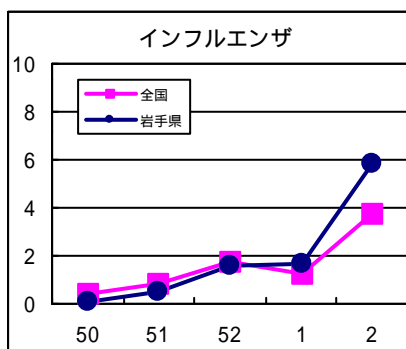
- ・患者発生の報告はありませんでした。

4 類感染症（定点把握対象疾患）

- ・前週は年末年始のため、患者数は全般的に少なめでしたが、この週には通常の患者数となりました。
- ・インフルエンザは、各地で大幅に患者数が増加しています。久慈地区では、定点当たり患者数が18.7と注意報値（定点当たり患者数 10.0）を超えています。これから患者数はさらに増加するものと予想されますので、厳重な注意が必要です。
環境保健研究センターで行っている病原体検査では、盛岡、花巻、水沢、大船渡地区で発生した患者からA香港型インフルエンザウイルスが検出されています。
- ・水痘は、二戸地区で年末に引き続き患者数が多く、定点当たり患者数は警報値（7.0）を超える8.5となりました。水痘はワクチンで感染を予防できます。任意接種ですが、将来の帯状疱疹の予防にもつながりますので、生後12～24ヶ月の間にできるだけ予防接種を受けておいたほうが良いでしょう。


最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		50	51	52	1	2		
インフルエンザ	岩手県	0.06	0.48	1.6	1.68	5.87		
	全国	0.38	0.85	1.79	1.21	3.72		
咽頭結膜熱	岩手県	0	0	0.05	0.03	0.03	→	
	全国	0.34	0.35	0.37	0.15	0.3		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	1.37	1.21	1.26	0.5	0.92	→	
	全国	1.64	1.74	1.48	0.4	0.98		
感染性胃腸炎	岩手県	11.13	11.87	7.68	4.58	4.95	→	
	全国	14.48	16.71	15	4.89	10.08		
水痘	岩手県	1.79	2.45	2.26	1.82	2.58	→	
	全国	2.69	2.95	3.06	1.77	4		
手足口病	岩手県	0.47	0.42	0.13	0.05	0.08	→	
	全国	0.32	0.28	0.2	0.06	0.07		
伝染性紅斑	岩手県	0.24	0.11	0.13	0.13	0.05	→	
	全国	0.28	0.27	0.27	0.1	0.38		
突発性発疹	岩手県	0.45	0.53	0.5	0.11	0.5	→	
	全国	0.69	0.7	0.64	0.29	0.72		
百日咳	岩手県	0	0	0.03	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0	0.01		
風疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.16	0.13	0.11	0.03	0	→	
	全国	0.09	0.06	0.05	0.02	0.03		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0.05	0	0.03	0	0	→	
	全国	0.01	0	0.01	0.01	0.01		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.39	0.55	0.18	0.16	0.24	→	
	全国	0.5	0.57	0.51	0.23	0.73		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0.08	0	→	
	全国	0.02	0.03	0.03	0.01	0.03		
流行性角結膜炎	岩手県	1.17	0.92	0.92	0.58	1	→	
	全国	0.81	0.82	0.9	0.28	1.21		
急性脳炎（日本脳炎を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.02	0.01	0	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.03	0.04	0.01	0.02		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.25	0.35	0.15	0	0.2	→	
	全国	0.35	0.39	0.24	0.08	0.29		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0.01	0	0.01		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
: 患者が発生しています
: 警報値を超えた地区が1～2地区あります
: 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）								（患者発生数）	
分類	疾病名	岩手県						全国	
		（週） 50	51	52	1	2	累計	2	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	12	19
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	1	1
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	0	3	9
四類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	0	7	8
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	0
	回歸熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	0	3	3
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	2	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	1
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	7	10
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	0	18	19
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	0	5	6
	破傷風	0	0	0	0	0	0	1	1
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	1
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	1	2
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	3	4
	ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0

本年11月5日に感染症法が改正されたことに伴い、調査対象疾患が一部改正されましたが、本週報では当面の間、改正前の分類による情報をお届けします。
できるだけ早い時期に、新しい分類による情報をお届けするよう準備していますので、ご了承ください。

今注目の感染症

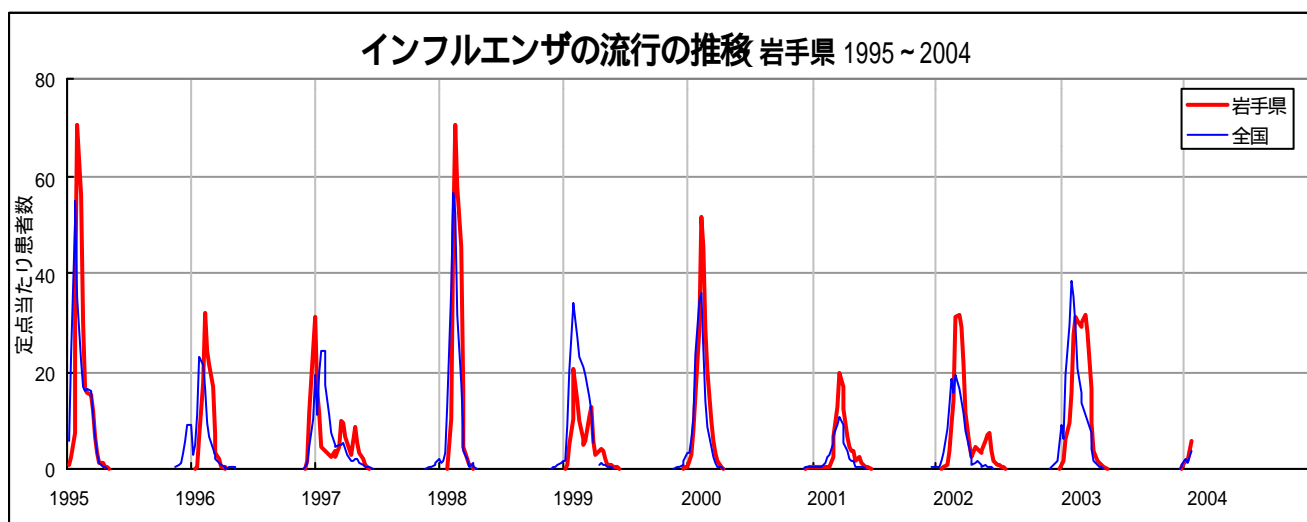
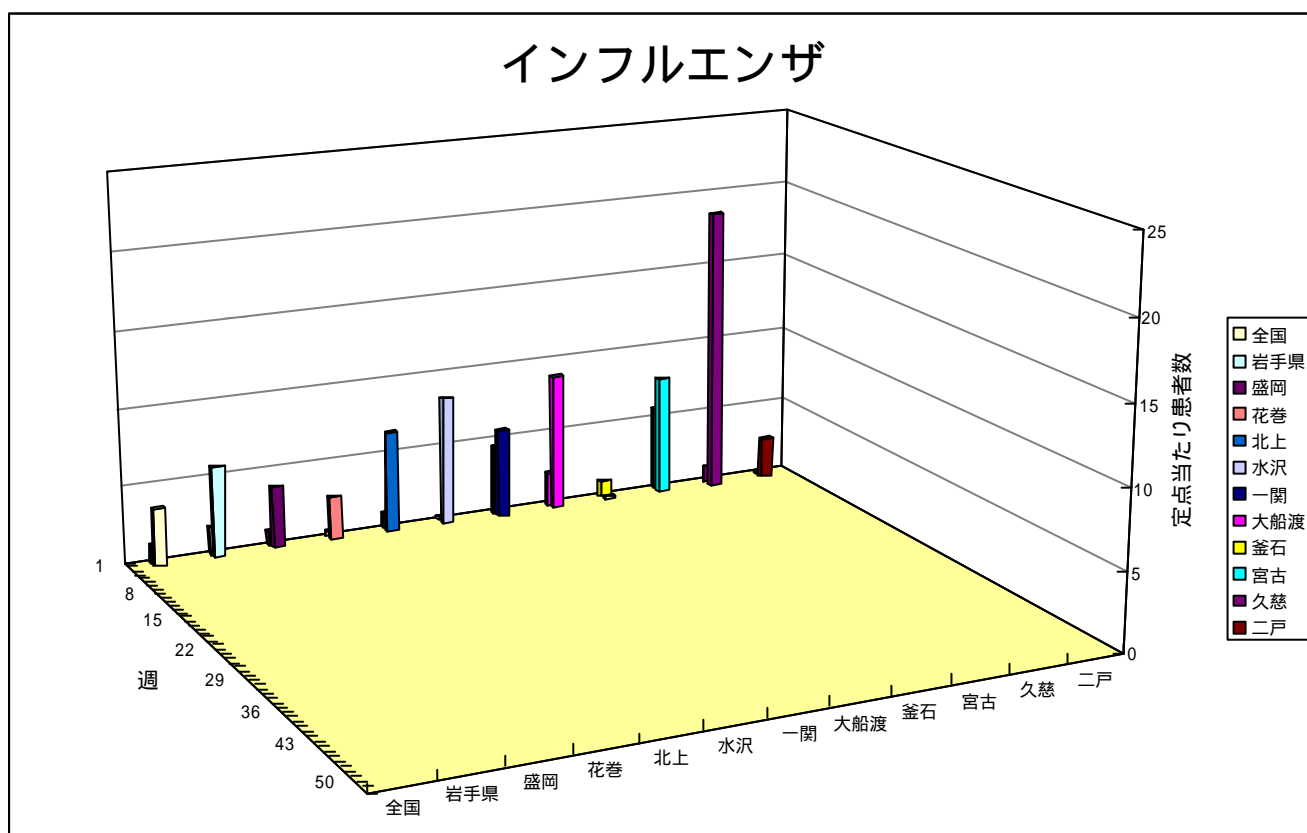
インフルエンザ

インフルエンザは、昨年末から徐々に患者数が増加してきました。今シーズンは、西日本に比べて東日本での流行が早く、当県でも流行が始まったと言っていいでしょう。

小さなお子さんがいらっしゃるご家庭では、次のことに注意しましょう。

小さな子供にアスピリン入りの解熱剤やかぜ薬を飲ませることは、急性脳症を引き起こす危険性があります。他の一部の解熱剤（ジクロフェナクナトリウム、メフェナム酸）にも脳症の状態を悪化させるものがあるので、解熱剤の使い方は、医師に必ず相談しましょう。

お子さんがお茶やジュースなどを飲んですぐに吐いてしまったり、けいれんを起こしたなどの時はすぐに医師の診察が必要です。インフルエンザはまれに脳症などの合併症を引き起こすことがあります。



病原体検出情報

- ・インフルエンザの患者（盛岡、花巻、水沢、大船渡地区）の咽頭拭い液から A 香港型インフルエンザウイルスを 8 例検出しました。

集団感染情報

湯田町で発生した食中毒事件

- 1 事件の概要
平成16年1月10日（土）夕方から、湯田町を訪れていた神奈川県茅ヶ崎市の子供会30数名が下痢、腹痛を訴え医療機関を受診した。患者はいずれも比較的軽症で、入院患者はいない。
- 2 調査結果
北上保健所が調査した結果、共通食品は事件当日の昼食（カレーライス、山菜そば、ヨーグルト）のみであり、検査の結果、カレーと患者便からウェルシュ菌が検出され、患者便からもウェルシュ菌エンテロトキシンが検出された。
- 3 原因食品
原因食品はカレーライス、病因物質はウェルシュ菌が産生したエンテロトキシンとみられる。前日に作り置きしたカレーの不十分な加熱によりウェルシュ菌が増殖し、患者に感染したものと思われる。

医療機関からの情報

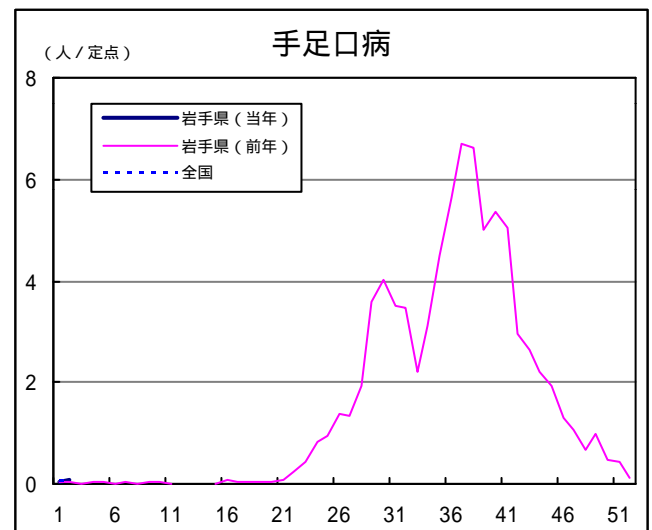
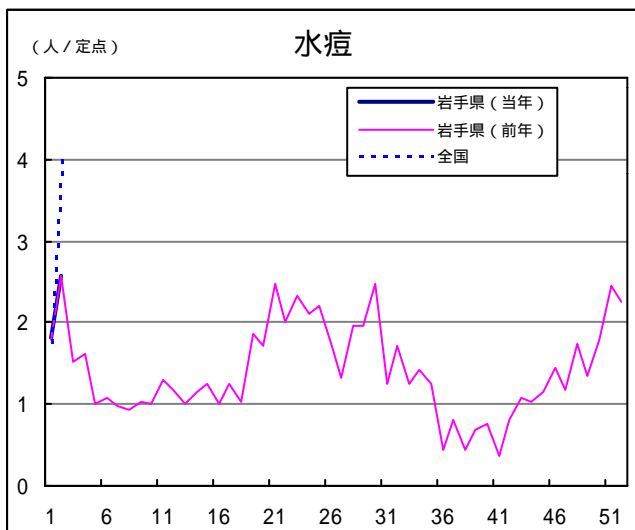
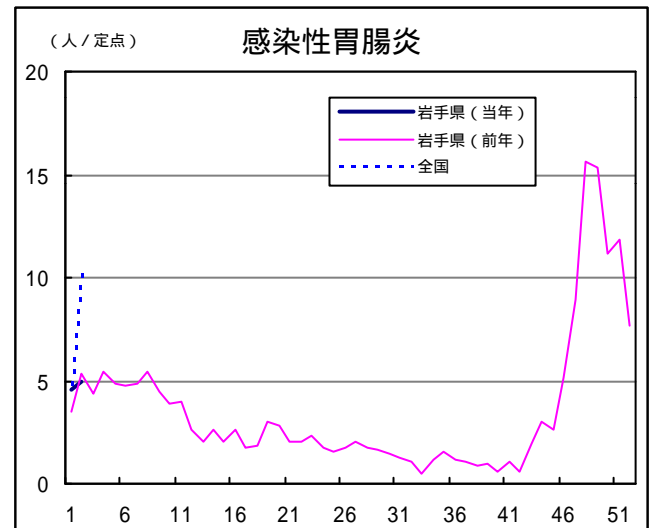
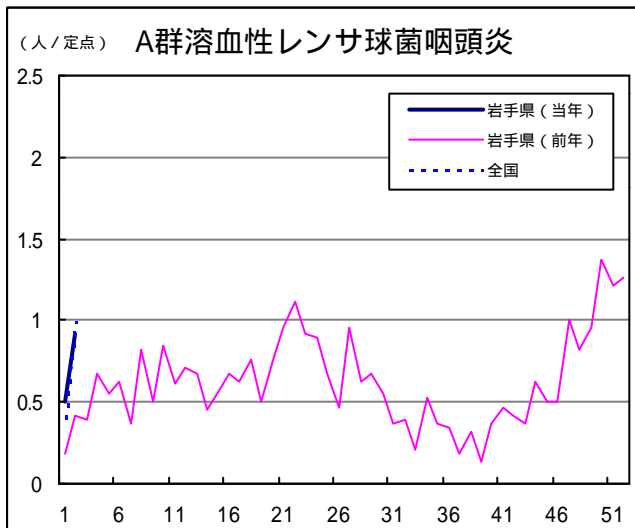
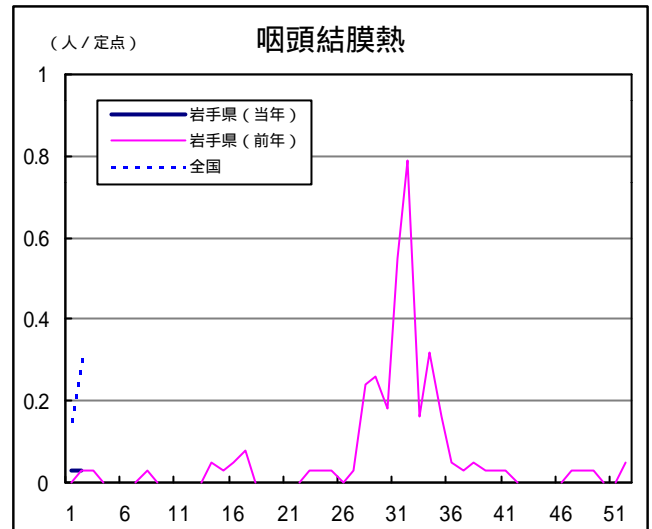
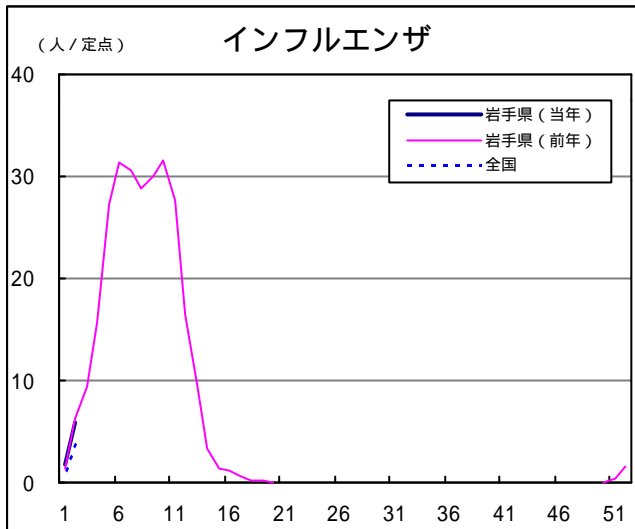
この週には医療機関からの情報はありません。

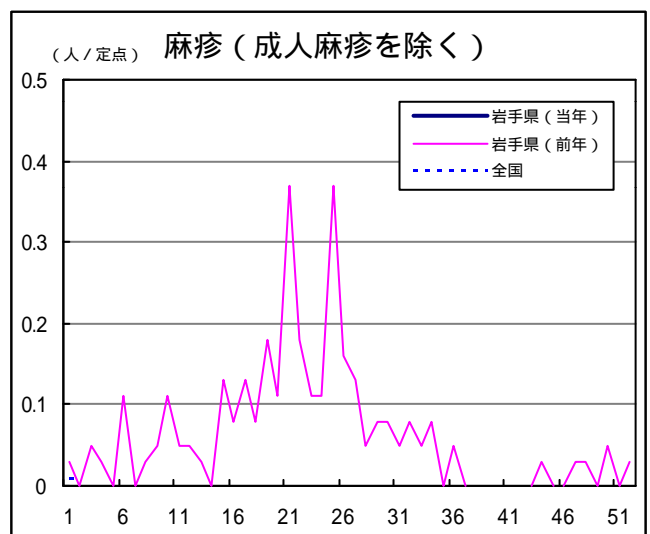
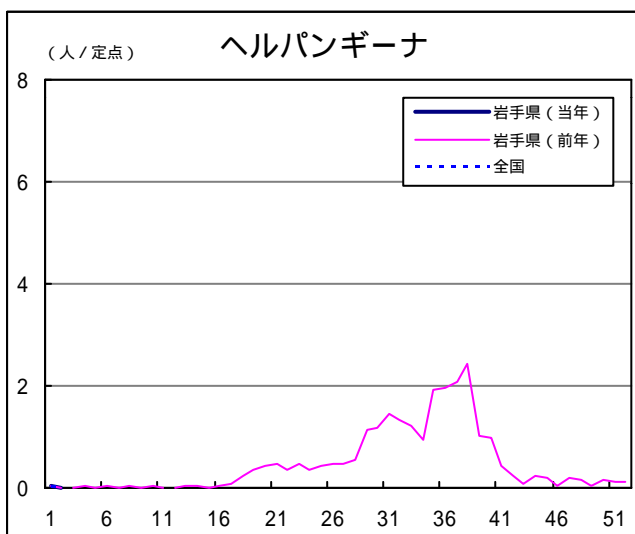
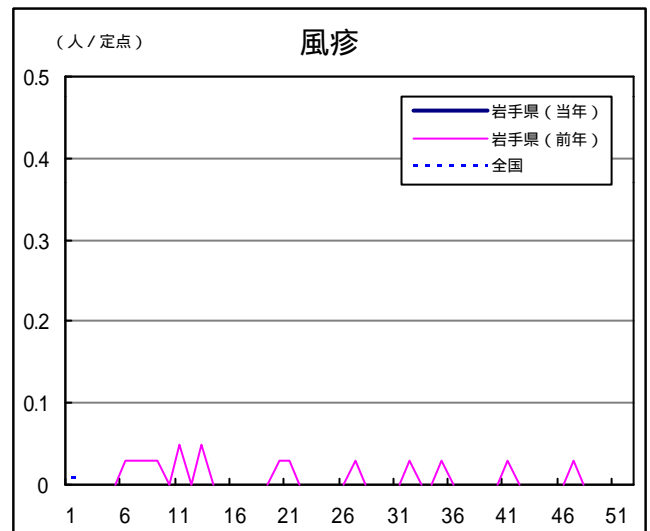
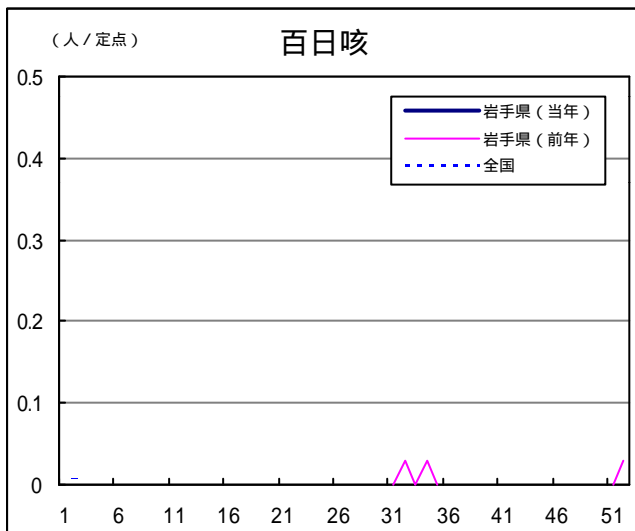
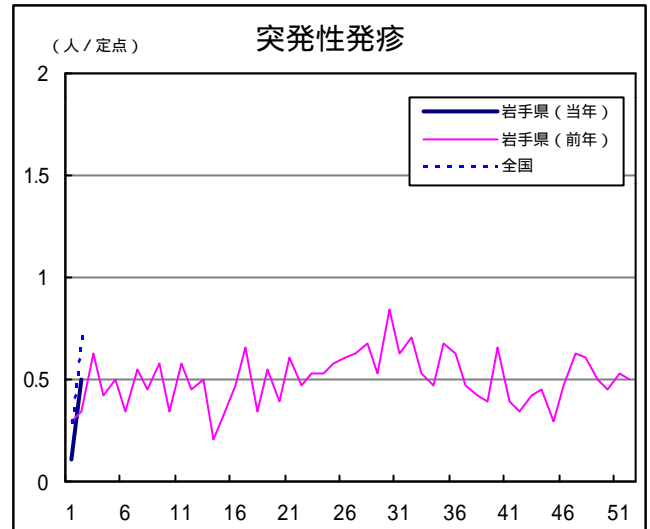
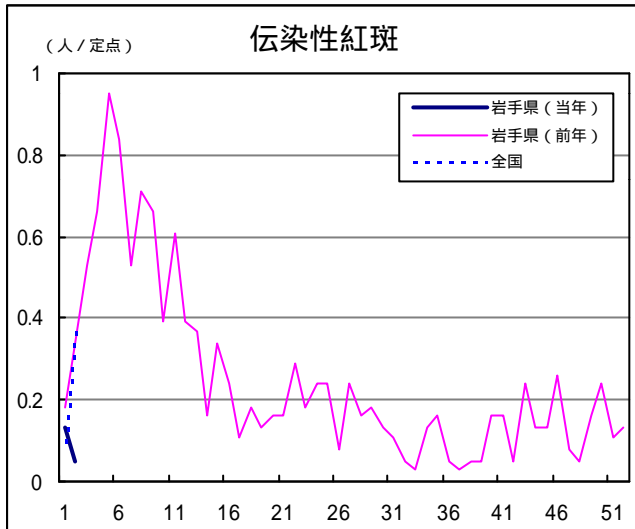
Q & A

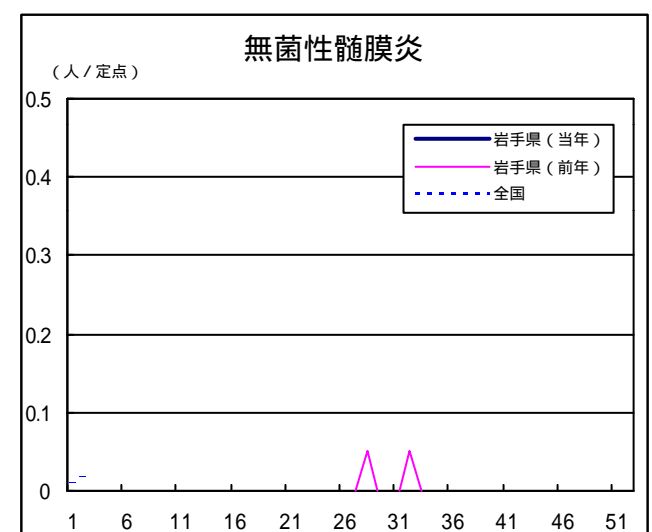
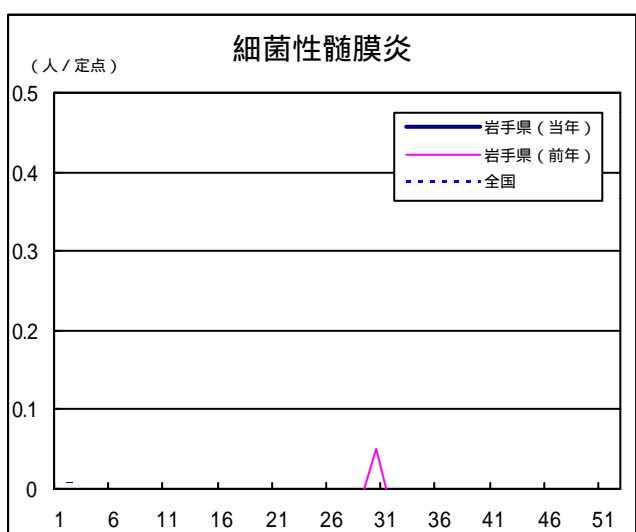
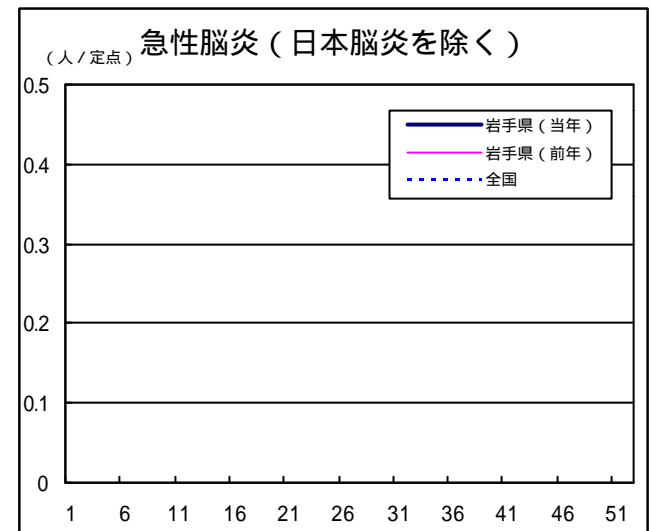
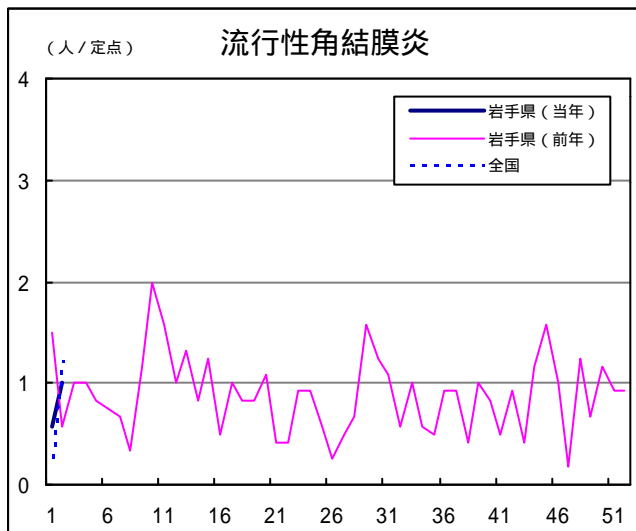
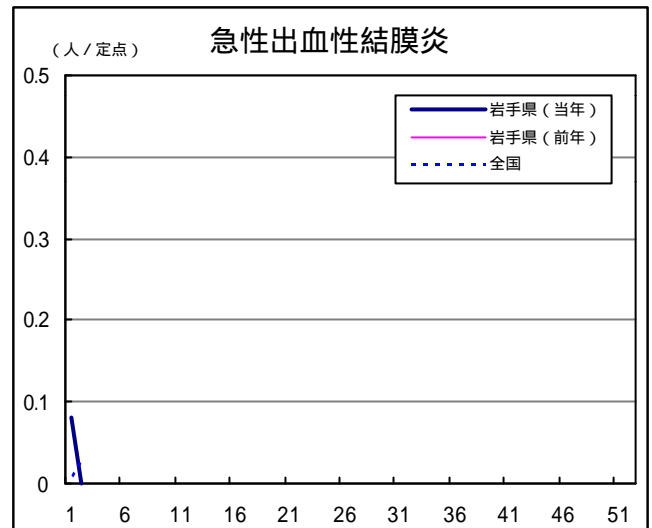
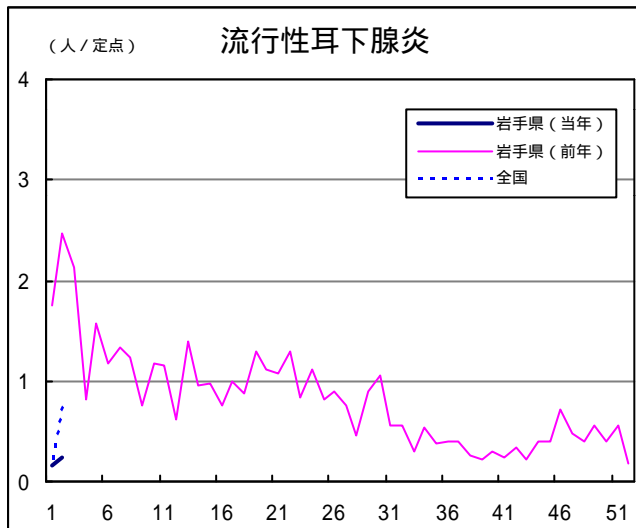
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

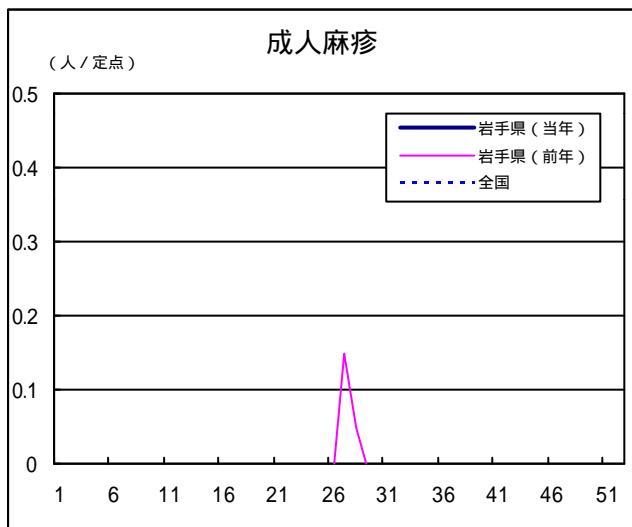
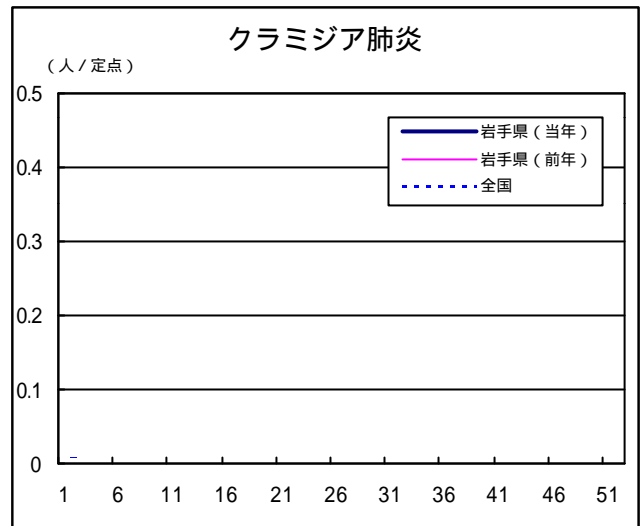
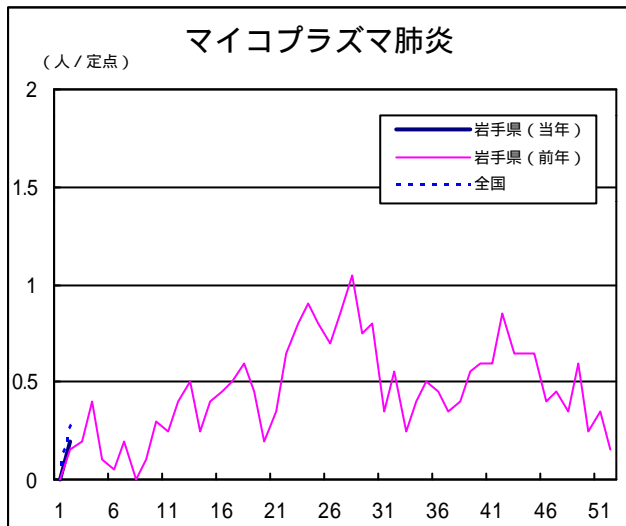
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL: 019-656-5669（直通） FAX: 019-656-5667
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

定点種別 地区	インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

無料です!!

岩手県感染症週報 平成16年第2週 平成16年1月16日発行

監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター

岩手県保健福祉部保健衛生課

事務局：岩手県結核・感染症情報センター

（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）

〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1

TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667

E-mail：CC0019@pref.iwate.jp

URL：http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/

<岩手県結核・感染症情報センター>

http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/

<岩手県保健福祉部保健衛生課>